



熊本県立大学文学部

熊本県立大学創立六十周年記念特集

文彩

第四号

2008年3月

文
彩
第
四
号

熊本県立大学創立六十周年記念特集

二〇〇八年三月

熊本県立大学文学部

熊本県立大学創立六十周年記念特集

学部長挨拶
文学部六十年の歩み 三木 悦三
 <退職された方々から> (退職年、五十音順)
 老人の熊本女子大学回想 山本 捨三
 旧女子大の教壇に立つて 斎藤 泰
 大学の発展と私の天草版平家物語の研究 江口 正弘
 郷土文化研究所について 上河 一之
 文学部に乾杯! 「二冊の本」に巡り合って 下瀬三千郎
 二十八年間を振り返って 平戸 喜文
 月毛の駒 竹原 崇雄
 近況二三 小櫃万津男
 イギリスの庭園を訪ねて 重松 隆矣
 貴婦人と一角獣 小辻 梅子
 <OG・OBの方々から> (卒業年順)
 熊本城がカレッジ 緒方 惇
 世の中の嘘 このかわうその皮ほんとかわうその皮 山田 とし
 徒然なるままに 西本 敬子
 わが干支四つを生きまして 佐藤 祐子
 言霊の幸う国 西口裕美子
 再会/再開 土屋 陽子
 女子大・県大での思い出 甲斐 朋子
 目にはさやかに見えねども... 吉村 仁里
 何とかする力 田川 恭識
 大学の思い出と近況 岩崎希裕美
 文学部の思い出 松野かな子
 イグニション・キー 伊東 裕起
 過去は足りているか 私の熊本県立大学 有働 牧子
 想像力と金の粒 田口 由佳
 <在学生、公開講座受講生、現職教員から>
 「忘れず、囚われず」 横山 健聡
 大学院での日本語日本文学研究の「今」 佐方 章子
 私の原点 フェアトレードくまもと 宿里 京子
 ドイツ語の公開講座を受けて 谷川 馨
 先達が残したもの 梅林 誠爾
 大学の歩みの中での一断面 未完の模索 元吉 瑞枝
 * * * * *
 助詞のはなし ケイジョシという言い方 半藤 英明
 江戸人と教訓 徒然草「猫また」の段を読む 川平 敏文
 遊戯の規則・続 うつろう 鈴木 元
 * * * * *
 公開講座報告 「よみがえる竹迫座」興行記 川平 敏文
 * * * * *
 翻訳から見えてくる英語学・言語学 ハリー・ポッターは「生きた少年」?
 英文法を考える(2)情報価値 清水 啓子
 作文添削の中から 外国人留学生の書いた日本語作文の分析 その2
 ベトナムからの留学生の場合 馬場 良二
 昔話と動物 猫と昔話 難波美和子
 * * * * *

第4回文学部フォーラム
 熊本県立大学創立60周年記念シンポジウム 冬・進歩・・・大学と社会
 あなたの「ことば」が失われるとき——失語症と大学での言語研究——
 ○言葉が失われるということ ～失語症の臨床から～
 熊本県言語聴覚士会会長 小園真知子
 ○ことばの認知的研究と失語症 熊本県立大学准教授 村尾 治彦
 ○日本語教育と失語症治療 ことば、ことだま、たましいのひびきあい
 熊本県立大学教授 馬場 良二

『文彩』既刊号特集紹介



創刊号 (2005年 3月)

文学部フォーラム「人文知の未来」

○文学部主催フォーラム「人文知の未来」概要報告

..... 熊本県立大学教授 砂野 幸稔

○特別寄稿 「人文知の未来」(基調講演概要)

..... 学習院大学教授 吉田 敦彦



第二号 (2006年 3月)

小特集：古今集1100年によせて

○三大学合同フォーラム概要報告

「古今和歌集1100年熊本フォーラム」概要および顛末記

..... 熊本県立大学教授 鈴木 元

○特別寄稿「古今和歌集1100年・新古今和歌集800年記念切手発行の裏話」

..... 早稲田大学教授 兼築 信行

○特別寄稿「披講作法点描」..... 東京成徳大学助教授 青柳 隆志

古今集への道 万葉から古今へ 国風暗黒時代をめぐる一つの解釈

..... 熊本県立大学教授 山崎 健司

新古今と連歌 本歌をとる 熊本県立大学教授 鈴木 元

古今伝授と徒然草の秘伝 徒然草の「しろうるり」 古今伝授の周辺

..... 熊本県立大学准教授 川平 敏文



第三号 (2007年 3月)

小特集：シェイクスピア万華鏡

○第3回文学部フォーラムを終えて..... 熊本県立大学文学部長 三木 悦三

○特別寄稿 「日本の『ハムレット』受容 その多様な変貌」

..... 大谷大学助教授 芦津かおり

○シェイクスピアと言語学 認知言語学から見たシェイクスピア

メタファー理論を中心にして

..... 熊本県立大学准教授 清水 啓子

○シェイクスピアと映像 仮面舞踏会がはじまる

『ロミオとジュリエット』と映像

..... 熊本県立大学講師 坂井 隆

熊本県立大学文学部

『文彩 BUN-SAI』第4号

熊本県立大学創立六十周年記念特集

* 発行 2008年3月1日

* 発行所 熊本県立大学文学部

〒862-8502 熊本市月出3丁目1番100号

* 印刷所 (株)啓文社

〒861-3102 熊本県上益城郡嘉島町下六嘉1765

熊本県立大学創立六十周年記念特集

学部長挨拶 文学部六十年の歩み 三木 悦三 1

<退職された方々から> (退職年、五十音順)

老人の熊本女子大学回想 山本 捨三 3

旧女子大の教壇に立って 斎藤 泰 5

大学の発展と私の天草版平家物語の研究 江口 正弘 8

郷土文化研究所について 上河 一之 11

文学部に乾杯! 「二冊の本」に巡り合って 下瀬三千郎 14

二十八年間を振り返って 平戸 喜文 17

月毛の駒 竹原 崇雄 19

近況二三 小櫃万津男 21

イギリスの庭園を訪ねて 重松 隆矣 23

貴婦人と一角獣 小辻 梅子 25

<OG・OBの方々から> (卒業年順)

熊本城がカレッジ 緒方 惇 27

世の中の嘘 このかわうその皮ほんとのかわうその皮 山田 とし 29

徒然なるままに 西本 敬子 31

わが干支四つを生きまして 佐藤 祐子 33

言霊の幸う国 西口裕美子 35

再会/再開 土屋 陽子 37

女子大・県大での思い出 甲斐 朋子 39

目にはさやかに見えねども... 吉村 仁里 41

何とかする力 田川 恭識 43

大学の思い出と近況 岩崎希裕美 45

文学部の思い出 松野かな子 46

イグニション・キー 伊東 裕起 48

過去は足りているか 私の熊本県立大学 有働 牧子 50

想像力と金の粒 田口 由佳 53

<在学生、公開講座受講生、現職教員から>

「忘れず、囚われず」 横山 健聡 55

大学院での日本語日本文学研究の「今」 佐方 章子 57

私の原点 フェアトレードくまもと 宿里 京子 59

ドイツ語の公開講座を受けて 谷川 馨 61

先達が残したもの 梅林 誠爾 63

大学の歩みの中での一断面 未完の模索 元吉 瑞枝 70

<創立六十周年記念特集編集後記>

* * * * * 助詞のはなし ケイジョシという言い方 半藤 英明 76

江戸人と教訓 徒然草「猫また」の段を読む 川平 敏文 78

遊戯の規則・続 うつろう 鈴木 元 86

公開講座報告 「よみがえる竹迫座」興行記 川平 敏文101(50)

* * * * * 翻訳から見えてくる英語学・言語学 ハリー・ポッターは「生きた少年」?

英文法を考える(2)情報価値 清水 啓子109(42)

作文添削の中から 外国人留学生の書いた日本語作文の分析 その2

ベトナムからの留学生の場合 馬場 良二119(32)

昔話と動物 猫と昔話 難波美和子127(24)

—第4回文学部フォーラム—

熊本県立大学創立60周年記念シンポジウム 冬・進歩・・・大学と社会

あなたの「ことば」が失われるとき——失語症と大学での言語研究——

○言葉が失われるということ ~失語症の臨床から~

熊本県言語聴覚士会会長 小園真知子148(3)

○ことばの認知的研究と失語症 熊本県立大学准教授 村尾 治彦142(9)

○日本語教育と失語症治療 ことば、ことだま、たましいのひびきあい

熊本県立大学教授 馬場 良二132(19)